



2019年度 (令和元年度) 年次報告書

特定非営利活動法人
京都地球温暖化防止府民会議
(京都府地球温暖化防止活動推進センター)



~~~~~  
KCfCAニュースNo.8  
(京都府地球温暖化防止活動推進センター通信)  
★KCfCA=Kyoto Center For Climate Actions  
2019年12月18日配信 (毎月配信)  
<https://www.kcfca.or.jp/information/kcfcanews8/>  
~~~~~

2020年6月

0 法人とセンター

● 私たちが目指すのは、「脱炭素型のステキな京都」です

パリ協定により、世界は、脱炭素社会へと大きな歩みを開始しました。第五次環境基本計画に記されている通り、いま、新たな文明社会を目指す大きな発想の転換が求められています。

地球温暖化対策は、ともすれば「不便さや不快さを我慢するもの」、「経済活動に悪影響を与えるもの」と捉えられがちですが、実はそうではなく、健康、防災、産業振興、地域活性化など、様々な『一石二鳥』=コベネフィットをもたらすものと期待されています。

私たちは、「脱炭素型のステキな京都」の実現を目指し、様々な立場の方々との連携で活動を行っています。

Vision

脱炭素型のステキな京都

Mission

ビジョン実現に向け、各々の立場を活かして取り組む担い手を増やし、担い手同士をつなぐなどして、その活動を活性化すること

Action

- ①担い手のサポート
- ②モデル的な取組づくり
- ③対策の面的展開

● 法に基づき、府知事による指定を受けて活動しています

NPO法人京都地球温暖化防止府民会議は、2003年10月に、地球温暖化対策推進法に基づき京都府知事より京都府地球温暖化防止活動推進センターに指定されました。

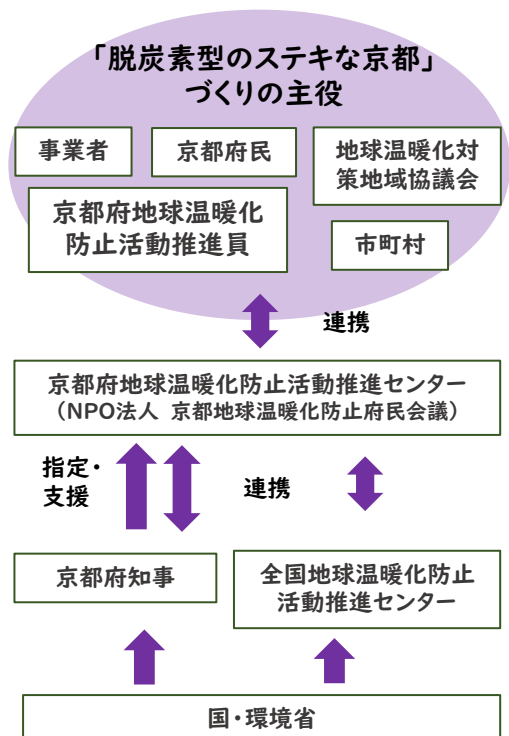
センターの指定は全国で18番目でしたが、**センター運営のための法人を新たに設立したのは、全国初の試み**でした。

京都府地球温暖化対策条例には、「府は、京都府地球温暖化防止活動推進センターが、地球温暖化対策を担う**中核的支援組織**として、事業者、府民及び環境保全活動団体の積極的な取組を促進する役割を果たすことができるよう、その支援に努めるものとする」と記載されています。

私たちは、環境保全のための1団体ではなく、府知事指定の中間支援組織として、皆様との連携のもとに活動をすすめています。

以降、本冊子では下記のように表記します。

京都府地球温暖化防止活動推進センター→センター
 京都府地球温暖化防止活動推進員→推進員
 地球温暖化対策地域協議会→地域協議会



連携でモデル事例をつくる・広げる ～これまでの代表的活動～

「京のアジェンダ21フォーラム」の社会実験から始まった**家電製品省エネラベル**。センターは、市町村やNPO、推進員との連携で、これを京都府全域へ、そして全国へと拡大。資源エネルギー庁の委員会に委員を派遣し、現在の「統一省エネラベル」制度づくりに参画しました。

京都府の「**ウッドマイレージCO₂を組み込んだ京都府産木材認証制度**」に制度設計段階から参画。平成16年の制度立ち上げ以降、約4,400通の証明書を発行。のべCO₂削減量は5,000トンにも。京都府産木材利用の拡大と、木材輸送によるCO₂削減に取り組んできました。

KGPNや行政機関との連携で、学校給食や社員食堂での「**旬の京都府産食材**」の利用拡大キャンペーンを実施。一次産業の活性化と食材輸送によるCO₂削減に取り組んできました。フードマイレージCO₂を計算したところ、90%以上削減された実績がいくつも確認されています。

私たちは、**京都を大切にする取り組みで
気候変動対策を進めてきました。**



2019年度（令和元年度）の活動（本報告書の目次）

1.地球温暖化防止府民活動推進事業	P.3
2.再生可能エネルギー普及支援事業	P.5
3.家庭のエコ推進事業	P.7
4.中小企業等省エネ支援事業	P.9
5.地域における地球温暖化防止活動促進事業	P.9
6.パリ協定記念イベント	P.13
7.その他	P.14

府民活動推進

情報発信のサポート

貸出啓発グッズを整備し、推進員や教員の皆様にご活用いただきました。啓発グッズの貸出回数は97回。およそ3日に1回の割合でご活用いただいたこととなります。

貸出啓発グッズの一覧や貸出方法は、
<https://www.kcfca.or.jp/tool/>

啓発グッズ貸出回数 **97回**
 貸出アイテム数 **のべ 782アイテム**

啓発グッズ 人気(貸し出し回数) トップ3

第1位



第2位



第3位



「夏休み省エネチャレンジ」で家族ぐるみの取組を促進

「夏休み省エネチャレンジ」を実施。参加世帯数は16,756世帯に上りました。推進員の皆さんが地元の小学校に出向いて参加を呼び掛けてくださるなど、多くの方のご協力によって達成できた数値です。

優秀校には、知事による表彰に加え、協賛企業の協力を得て環境教育教材を贈呈しました。また、参加賞として、気候変動対策と地域の豊かさの関係を表す「おんだんかぼうしランプ」を作成・配布しました。



参加世帯数

16,756世帯



推進員活動の支援

研修会の開催、啓発資材の貸出、活動現場にうかがってのお手伝い、活動支援金のお支払いなど、様々な形で推進員の皆様の活動に関わらせていただきました。

推進員活動回数は、報告されたもの、かつ対外的な活動だけで2,071回に上りました。また、啓発活動だけではなく、脱炭素型の地域づくりの活動も、推進員の皆様によって各地で行われています。

推進員のべ活動件数2,071回
報告されたものの中から、対外的な活動のみをカウント



推進員活動回数一覧

活動内容	件数
みどりのカーテン普及	169
子ども向け出前講座	618
大人向け出前講座	141
イベントでの啓発	442
家庭の省エネ相談・診断	205
事業所の省エネ相談・診断	33
森林保全活動	177
その他(廃食油回収を含む)	286
合計	2,071

推進員活動についてはこちら
<https://www.kcfca.or.jp/usage/leader/>

「府民活動推進」の全体像と主な成果

<京都府委託 京都府地球温暖化防止府民活動促進事業>

相談窓口の設置

地球温暖化防止活動に関する情報提供（月1回5月～KCFCANews発行 うおーみんぐWEB版作成・うおーみんぐWEB版案内チラシ合計8,000部発行）

Webサイト新規リニューアル・運営（アクセス・リーチ数242,590件）

京都府地球温暖化防止活動推進員研修会の開催（6回）

推進員活動支援金の支給（活動支援金支払対象者：162人 推進員活動実績：2,071回）

環境教育教材を推進員・市町村等へ貸出（貸出回数：のべ97回 貸出アイテム数：のべ782個）

親子温暖化教室（小学校等での環境教育）（実施回数：10回、のべ参加者数：474人）

環境家計簿（「夏休み省エネチャレンジ」16,756世帯 インターネット版3,767人）

家庭の省エネ相談所の実施及び実施支援（回数：13回 参加者数：714人）

<京都府委託 けいはんなe2未来まなびパークでの講義及び体験学習運営業務>

けいはんなエネルギー教室の開催（10回）

<京都府委託 小学生向け気候変動啓発業務>

子どもたちが年間を通して環境活動を行うための支援ツールとして、取組チェック欄付きの気候変動啓発下敷きを作成・配布（3,500枚）。

2 再エネ普及支援

商業施設等での体験型啓発

「京都再エネコンシェルジュ」のいる事業所と連携して、イオンモール京都桂川、イオンモール高の原、ショッピングセンターマインにおいて再エネのフェアを合計4回開催し、再エネ体験展示やクイズ等を通じて情報を発信しました。

フェア参加者数 **845人**
クイズラリーに参加した人



親子向け啓発 及び 啓発支援

商業施設での啓発活動に合わせて、合計9回の親子向けの工作教室を開催。232名にご参加いただき、例えばクリスマス前には、牛乳パックを利用した「ソーラーレインボーツリー」を作成するなど、楽しめるプログラムで啓発を行いました。

工作教室参加者数 **232人**
9回の工作教室参加者述べ人数



センター自らが啓発を行うだけではなく、「**再エネ工作教室担い手講習会**」を3回開催。市町村の担当者、推進員、大学生らを対象に、再エネ工作教室の開催方法について伝えました。また、プログラムの内容や使用するパワーポイントデータ等を京都再エネポータルサイトに掲載して多くの人が活用できるようにしました。

担い手講習会の参加者によって開催された「**再エネ工作教室**」のうち3回に出向き、現場サポートを行いました。



京都再エネコンシェルジュのサポート

京都再エネコンシェルジュの活動をサポートするため、スマートハウスショールームの見学を含む研修会を開催しました。

また、京都再エネコンシェルジュ11名のインタビューを行って、取組の内容を「京都再エネポータルサイト」で紹介しました。

昨年までに引き続き、京都再エネポータルサイトでの情報発信も行いました。

詳しくはこちら『京都再エネポータルサイト』
<https://kyoto-saiene.net/>

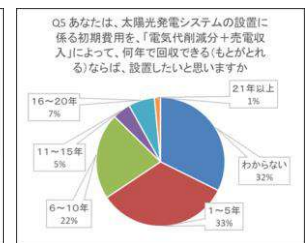
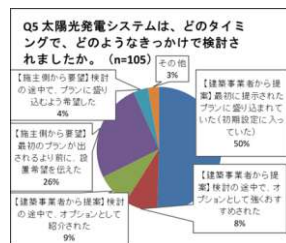


再エネ普及に向けた府民アンケート調査

京都の再エネ普及の現状と課題を明らかにするために、インターネットを活用した府民アンケート調査を実施しました。

太陽光発電は、設置者の年代は、20代は少ないものの30代以上では年代に差がないこと、住宅の新築と同時に設置した人が46%存在したこと。新築時に設置した人のうち半数は、建築事業者から提案された最初のプランに盛り込まれていたことなどが明らかになりました。

調査参加者数 **7,682人**
 このうち936人が本調査にも参加



「再エネ普及促進」の全体像と主な成果

<京都府委託 京都再エネコンシェルジュ認証制度に係る支援、普及啓発業務>

- 住宅での再生可能エネルギー利用に関する情報整備と発信(京都再エネポータルサイトの運営)
- 再エネの専門家と連携した相談の受付体制構築と運営
- 商業施設等での一般向けへの再エネ普及啓発活動(4回 845名)
- 再エネコンシェルジュ等対象再エネ見学会運営
- 親子向け再エネ工作教室(3会場×3回 232名)
- 再エネ工作教室担い手支援(3回)
- 再エネコンシェルジュインタビュー(11件)
- 再エネに関するWEBアンケート(基礎調査 7,682人 本調査4種 936人)

3 家庭のエコ推進

● 家庭の省エネ診断（うちエコ診断）の実施・学習会の実施

京都市の省エネ行動促進プログラム事業の一環で、家庭の省エネ診断（うちエコ診断）を実施しました。合計25回の診断会を実施し、診断件数は452件でした。

診断の数カ月後に、実際の取組状況をお聞きするアンケートを行ったところ、CO₂削減量は190t-CO₂、削減率は11.9%に達しました。

（※削減量は実測値ではなく取組内容からのみなし量です）

うちエコ診断件数 **452件**
みなし削減量 **190t-CO₂**



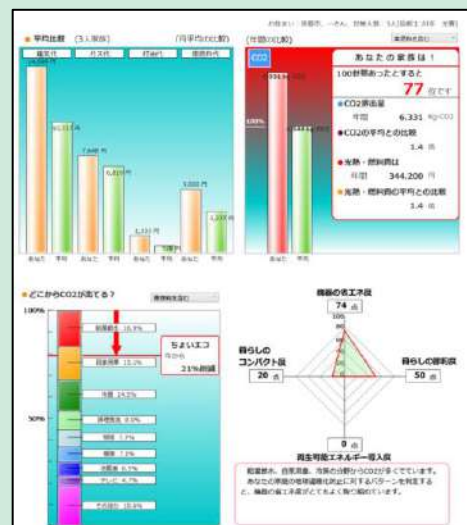
また、診断後に、学区にて、実験やクイズを豊富に盛り込んだフォローアップ学習会を17回開催しました。学習会参加者はのべ283人でした。

加えて、診断士のスキルアップのための研修会も実施しました。

うちエコ診断とは

家庭のエネルギー消費量や設備機器利用状況をもとに、専用のアプリケーションをもちいて、環境省の公的資格である「うちエコ診断士」が診断を行うものです。

「一般的な呼びかけ」ではなく、「一つひとつの家庭にピッタリの取組を一緒に考える」点が特徴です。



HEMS設置支援

対象HEMS機器を新たに購入し設置する個人、若しくは、対象HEMS機器が設置された住宅を新たに所得する個人に対して、補助を行いました（京都府からの間接補助）。補助額は機器費の半額（最大4万円）。

支援対象件数は173件でした。



暮らしの快適性アップ+エネルギー利用の効率化

城陽市と連携し、主に高齢者のご自宅を訪問して、エネルギー設備の利用状況を把握したうえで、エアコンのフィルター清掃、白熱灯や蛍光灯シーリングライトのLEDへの交換、断熱マットや透明カーテンなど簡易断熱グッズの設置などをお手伝いしました。また、前後の温度変化やエネルギー消費量の変化を計測させていただきました。

お住まいの方からは、「暖かくなって快適」、「ホットカーペットは『強』を『中』にしても大丈夫になった」、「カーテンライナーの効果を温度計で毎日記録した。予想よりずっと効果があって驚いた」などの声をいただきました。



家庭のエコ推進事業の全体像と主な成果

<京都市委託 省エネ行動促進プログラム実施業務>

うちエコ診断士32名を対象に計5回の研修会を実施。

25回の家庭の省エネ診断会（うちエコ診断会）を開催し、452件の診断を実施。

回収された事後調査票199件の分析の結果、190トンのCO₂削減を確認。

（受診者全体の排出量の11.9%、事後調査票返送者の排出量の28.3%の削減に相当）

<京都府補助 府民ネガワット発電推進事業（HEMS機器設置）>

173件のHEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）設置に対して補助金を交付。

<城陽市委託 家庭における冬の実証事業>

5件のお宅を訪問して、省エネグッズの取り付けやエアコンのフィルタ掃除などのサポートを実施。

計測機器によって温度や消費電力の変化を記録して効果を測定。

4

事業所の省エネ支援

● 公共施設や民間事業所の省エネ支援

公共施設2か所、民間工場1ヶ所の省エネ診断を行いました。全ての施設において、電力消費量を測定してエネルギー使用状況を見える化するとともに、データの解析を行って、再エネ導入、設備更新を含む省エネ対策の提案を行いました。

公共施設2か所では、吸収式冷温水器の更新、LED照明の導入、サーバ室のエアコンの運用改善、太陽光発電の設置等により、大幅にCO₂の削減を図る提案を行いました。

民間の工場では、最新の工作機器に更新、水銀灯のLED化、更新時期を迎えている空調機の更新、コンプレッサの運用改善などの提案を行いました。

診断後には省エネ設備導入に関する補助金申請をお手伝いするなど、伴走支援を続けています。

提案した対策が
実行された場合の効果
538t-CO₂



5

地域における活動促進

● 京都COOL CHOICE診断の担い手支援

こまめな省エネだけではなく、省エネ家電の選択や省エネグッズの活用なども含めた多様なCOOL CHOICEの方法を提案するエクセルベースの「京都COOL CHOICE診断ソフト」を改良。これを用いた研修やOJTを実施しました。



5 地域における活動促進

再配達削減プロジェクト

若い世代に取り組んでもらうことを目指し、大学教員と連携して大学生向けワークショップを開催。552人の参加を得られました。参加者からは、「温暖化対策をすることが豊かな社会につながるのを目からウロコ」といった感想が寄せられました。

大学生ワークショップ参加者数
552人

「宅配便職場受け取りチャレンジ」には、34事業所にご参加いただきました。

クリスマスやお歳暮の時期にあわせて実施した「再配達削減チャレンジ」は、アンケート回答者（55名）分だけで109回（1人あたり1ヶ月で平均2回）の削減効果が確認できました。「今回のチャレンジをきっかけに宅配ボックスを設置した」、「宅配業者のお知らせサービスに登録した」といった回答がありました。



夏休みCCチャレンジ

京都市の環境学習施設「京エコロジーセンター」と連携して「夏休み限定!クールチョイス☆チャレンジ」展を開催。おみくじを引いて、クイズや投票、ミッションに挑戦してもらいました。

クールチョイス☆チャレンジ展
参加者数 **3,625人**



連絡調整会議

地域団体や市町村担当者、事業者団体等による連絡調整会議を2回開催。「地域循環共生圏」や「RE Action」に関する情報を共有し、意見交換を行いました。



福知山市と連携したCOOL CHOICE啓発

COOL CHOICEとSDGsの認知度を向上させるため、JR福知山駅や市内を走る公共交通、**福知山城など環境に関心がない人も訪れる施設**に、ポスター、展示パネル、横断幕等を掲出して情報を発信しました。パネルには、福知山の水害と気候変動に関する情報も盛り込みました。



脱炭素型で持続可能な社会をイメージすることができ、自らの選択で未来が変わることを遊びながら学べる「ゲームブック風教材」を作成しました。**3,000部を印刷し、4年生以上の小学生全員に配布**しました。



家族連れなど**7万人が訪れる「福知山産業フェア」にブースを出展し啓発**を行いました。

「的あて」で気候変動問題に関するクイズに応えるコーナーや、LEDシーリングライトの実物を操作できるコーナー。COOL CHOICE宣言コーナーなどを設け、終日、多くの人で賑わいました。



気候変動と地域活性化等に関するクイズを盛り込んだ新聞折込チラシを作成しました。また、新聞広告を掲載して認知度の向上を図りました。いずれも、両丹日日新聞を購読する**18,250世帯**に届けました。



福知山市内の団体と連携して、「防災×気候変動」、「食べ物×気候変動」などをテーマとするゲーム形式の学習会を3回開催しました。地域づくりの担い手の方々約60人にご参加いただきました。



京都府電機商業組合福知山支部の皆様にご協力いただき、LEDシーリングライトへの更新を働きかけました。ポスターやのぼり、ワークシート付きの啓発チラシで情報発信を行いました。取組は、ヤフーヘッドラインでも紹介されました。



京丹後市のパートナーシップ会議立ち上げサポート

京丹後市の第2期環境基本計画（地球温暖化対策実行計画含む）で掲げる基本理念『「社会」「経済」へ“環境価値”の統合 ～自然・ひと・活動が共生し、環をなすまちづくり』の実現に向け、その推進を担う「環境パートナーシップ京丹後（仮称）」の設立に向けたワークショップの運営をお手伝いしました。

ワークショップ テーマ①

「お金とエネルギーの話」

ワークショップ テーマ②

「自然災害激増時代をあなたはどう生きる」

ワークショップ テーマ③

「未来のために知っておきたい海とプラスチックの話」

（※各テーマ2回のワークショップを開催。この内①と②の企画運営を担当）

活動交流会

（※①～③の内容を振り返りつつパートナーシップ会議のあり方を検討。企画運営を担当）



地域における活動促進事業の全体像と主な成果

<地球温暖化防止全国ネット補助 地域における地球温暖化防止活動促進事業>

宅配便再配達削減プロジェクト（関係者会議開催、大学生ワークショップ522人参加、キャンペーン期間中の再配達削減55人で109回、宅配便職場受け取り34事業所参加）。

京エコロジーセンターと連携した「夏休み限定!クールチョイス☆チャレンジ」3,625人参加。

COOL CHOICE学習会4回開催。

COOL CHOICE診断員養成講座20人参加。相談受診者90人。

気候変動問題に関する府民アンケート実施。有効回答数1,152件。

京都府地球温暖化防止活動推進連絡調整会議を2回開催。のべ74人が参加。

<福知山市委託 COOL CHOICE啓発支援事業>

公共交通や公共施設を利用した認知度向上、新聞広告や折込チラシによる啓発、ゲームブック風教材の作成、COOL CHOICEワークショップ開催、イベントでの啓発、京都府電機商業組合福知山支部と連携したLEDシーリングライト更新キャンペーンの実施。

<京丹後市委託 環境パートナーシップ京丹後設立支援業務>

全6回のワークショップのうち4回の企画運営を担当。また、活動交流会の企画運営を担当。

6

パリ協定スタート記念イベント

第1部 パリ協定スタート記念イベント

2020年1月から、パリ協定下での気候変動対策がスタートしました。このタイミングに合わせ、これまでのセンターの活動を振り返り、今後の新たな活動について展望するイベント「パリ協定スタート記念イベント～京都府温暖化防止センターの新たな一歩～」を開催しました。

当日は、**西脇京都府知事にお越しいただき、力強い激励メッセージをいただきました。**

また、パネルディスカッションでは、地域循環共生圏のもとでのセンターの活動のあり方について議論がなされました。

＜パネルディスカッション登壇者＞

中島恵理氏（環境省大臣官房環境計画課計画官、前長野県副知事）

大谷学氏（京都府府民環境部長）

久保田学氏（北海道地球温暖化防止活動推進センター次長）

平岡俊一氏（滋賀県立大学講師、第1期京都府温暖化防止活動推進員）



センター設立から16年以上にわたり活動を支えてくださった皆様、誠にありがとうございます。センターは、パリ協定のもとでの新たな一歩を踏み出しました。引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第2部 活動交流会

第1部終了後には、立食形式での活動交流会を開催しました。センターの活動のパートナーの皆様より、リレートークという形でご挨拶をいただき、交流を深めました。

なお、食事は、会場において京都府産食材をメインとする和食を準備させていただきました。



7. その他

講師・委員派遣等（主なものを抽出して掲載）

委員・役員・報告等

<京都府>

- ・地球温暖化対策プラン（府庁の省エネ・創エネ実行プラン）検討会議委員
- ・住まいの断・密力強化方策研究会委員
- ・再生可能エネルギー導入促進プラン検討委員
- ・京都丹波スマート環境学習に係る検討会
- ・京都環境フェスティバル実行委員会・監査

<国・環境省近畿地方事務所>

- ・気候変動適応近畿広域協議会委員
- ・適応啓発コミュニケーションツール検討会

<市町村>

- ・長岡京市 生活環境審議会委員
- ・京丹後市 美しいふるさとづくり審議会委員
- ・木津川市 環境審議会委員

<団体等>

- ・公益財団法人京都市環境保全活動推進協会 事業運営委員
- ・京のアジェンダ21フォーラム 幹事
- ・（一社）地球温暖化防止全国ネット 理事
- ・KGPN 常任幹事

講師派遣（講演会・研修・事例報告等）

<京都府>

- 5/16 乙訓保健所「夏の省エネ教室」講師

<市町村>

- 5/16 舞鶴市「地球温暖化対策実行計画 事務事業編」に関する職員研修会 講師
- 11/25 京丹後職員勉強会 講師
- 2/10 京都市職員研修 講師

<他府県等>

- 11/14 温暖化防止センター中部ブロック研修会 講師
- 12/17 中四国ブロック研修 講師
- 2/5 愛知県自治体推進員研修会 講師

<団体等>

- 4/9 ウッドマイルズ算定技術者講習会 講師
- 4/16 京都SKYシニア大学「発見・ライフデザインコース」<暮らしと健康>「気候変動と快適省エネ生活」講師
- 5/11 エコネットあやべ総会「研修会」講師
- 5/20 京のアジェンダ21フォーラム主催「地域企業のための再生可能エネルギー100%セミナー」パネリスト
- 5/31 PVnet学習会 講師
- 2/12 電商消費者懇談会
- 2/16 エコネット丹後設立15周年記念式典 講師

大学の講義への貢献

立命館大学 産業社会、文、法・国際関係学部「現代環境論」
立命館大学 産業社会学部「子どもと地球環境」授業担当講師
龍谷大学 政策学研究科「環境課題分析研究」非常勤講師

ご支援にあつく御礼申し上げます

■納得工房（積水ハウス株式会社）様

木津川市にある積水ハウス株式会社 総合住宅研究所 納得工房で開催される

「すまい塾公開講座」の参加費全額を、

京都府内の温暖化防止活動促進のためにご寄付いただいています。

住まい塾公開講座についてはこちらをご覧ください。

https://www.sekisuihouse.com/nattoku/koubou/seminar_event/index.html



京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。平素からのご支援にあつく御礼申し上げます。

脱炭素型のステキな京都の実現に向けて取り組んでまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

情報をお届けします。ぜひご活用ください。



ウェブサイト进行全面更新しました。

ぜひご覧ください。

貸出啓発グッズの一覧もこちらから。



「KCFCAニュース」

webwarming+subscribe@kcfca.or.jp に

空メールをすると、返信がくるので、そのメール

に返信するか文中の「このグループに参加」を

クリックすると自動で登録できます。



ツイッター



ライン



フェイスブックページ

SNSで情報を発信しています。

Webうおーみんぐ配信の際にもお知らせしま

す。アカウントをお持ちの方は、ぜひ登録をお

願います。

情報発信のペーパーレス化を進めています。ご協力をお願いいたします。